コラム

富山あゆみは大学生の時の大怪我の影響で、複数の後遺症を負った中途身体障害者です。日常生活では様々な工夫をしています！

『教えてほしい』とお声をいただいたので、これから片手で生きる工夫をコラムでお届けしていきます。

その1

ファスナーのコートは苦手、ドットボタンかスナップボタンが得意です！

その2

お料理には片麻痺用のワンハンドグッズが大活躍！

その3

ペットボトルの蓋はこの子にお任せ！

今号のひとこと

『区長に予算に反映してほしい事業を多数要望しました。』

千代田区議会議員

富山あゆみ

文教福祉委員会 / ちよだ区議会だより 副委員長 /
デジタルトランスフォーメーション特別委員会 副委員長

プロフィール

平成６年生まれ 30 歳
大阪府四天王寺高校
東京歯科大学 歯科医師
厚生労働省　医系技官

tomiyama.chiyoda@gmail.com

SNS の DM からもご意見ご要望を受け付けております。お気軽にご相談ください♪

献金のご案内

インターン受け付けています。日数などは要相談です。ご興味のある方はご連絡ください。

最年少千代田区議会議員

とみやま 富山あゆみ と 千代田区のあゆみ

歯科医師　元厚労省医系技官

VOL.4 | 2025年春号

令和7年度予算特別委員会

口腔機能向上プログラム

詳細は QR コードへ！

歩けなくなったら車いすに乗って誰かに押してもらえば移動できます。
手が動かなくても誰かに食べ物を口に入れてもらうことはできます。
「噛むこと」「飲み込むこと」だけは、必ず自分でしなければなりません。
生涯、口から食べるために『口腔機能向上プログラム』ぜひ案内をご覧ください。
『口腔機能向上プログラム　歯医者さんで介護予防』

子育て支援・卵子凍結助成について

東京都のこの事業はノンメディカル卵子凍結として数勢くの危険性が伴うことや、その法的根拠の曖昧さもあり、日本産科婦人科医学会から「推奨しない」と申し入れがなされています。また、卵子凍結からの出産成功率は10%～40%と言われており、女性にばかり金銭的身体的精神的にも負担がかかります。
行政がやるべきことは、不確かに妊娠を先送りにすることではなく、適齢期に出産を望む女性の負担を軽減することであることを強く指摘しました。
『ノンメディカル卵子凍結について東京都への申し入れ』

新たな居場所による支えあえる地域づくり

高齢者が将来にわたって住み慣れた地域で安全に安心して暮らしていけるよう、令和7年度はこれまで地域になかなかつながっていなかった方も気軽に関わり合いを持ち、地域活動への参加意欲を持つきっかけとなるよう支援を拡充することを確認しました。

SSR（スペシャルサポートルーム）・巡回アドバイザー

全区立学校に設置されたSSR入室基準の運営方針について、適宜適切に対応すること。保護者と学校との面談がクローズドな環境にならないように、心理専門職である巡回アドバイザーの同伴が認められることを確認しました。